

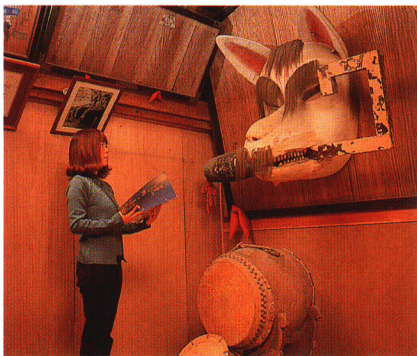
史跡

文化財が悠久の時を越えて静かに語りかけてくる



▲円東寺の古木（町指定文化財）

野 地観音堂算額や長谷観音など、多くの史跡、文化財がいにしえの日々の面影を今に残しています。



▲三ツ石稲荷（町指定文化財）

円 東寺は、徳一大師が開基した、この地方最古の縁起を持つ古刹です。

正岡子規の句碑も残されています。

高 村智恵子の生家長沼家の菩提寺でもある満福寺は隣接する油井神社とともに1100年以上もの歴史を持っています。満福寺にはまた源義経の言い伝えや、芭蕉の足跡をたどった

歴史をたどる道筋でいにしえの声が届くように

三ツ石稲荷神社には、その名のとおり長方形に並んだ三つの石が縁起物として祀られています。また、ここに奉納されている「白狐の面大額」は縦4尺5寸、横6尺5寸の大きさで、白狐が大きな鍵をくわえた面です。安永9年（1780年）に丹羽藩主9代長貴公が出生祈願の御札に奉納したといわれ、「鍵」は人々に幸福をもたらすものとされています。



▲満福寺としだれ桜



▲野地観音堂（町指定文化財）